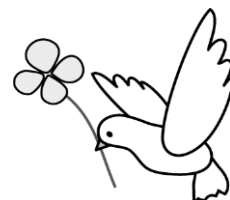




平和ってなに？

～戦争を知って平和を考えよう・児童書版～



7月12日は「宇都宮市平和の日」

7月12日～8月15日は「宇都宮市平和月間」です

宇都宮市では、宇都宮空襲があった7月12日を「宇都宮市平和の日」、7月12日から終戦の日の8月15日までを「宇都宮市平和月間」と定め、戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えています。

みなさんに読んでほしい、平和を考えるための図書のリストを作成しました。どうぞご利用ください。

	タイトル	ぼくが子どものころ戦争があった 「いくさの少年期」より			戦争が始まった当初、日本が勝てば良い世の中になると教えられたが、戦争は激化し、たった4年間で、みるみるうちに世の中は一変してしまった。 戦争開始当時13歳だった田中幹夫さんの「いくさの少年期」を絵本化。
	著者	田中 幹夫／原作 寮 美千子／文 真野 正美／絵			
	出版社	ロクリン社			
	分類	E01／タ	出版年	2024年	
	所蔵館	中央・東・南			

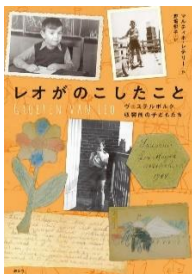
	タイトル	やくそく ぼくらはぜったい戦争しない			認知症のばあちゃんは、ぼくのことを原爆で死んだ自分の”にちゃん”だと思ってる。だいすきなばあちゃんだから、辛いことは忘れて毎日楽しく過ごしてほしいんだ。 平和を訴え続けた那須正幹さんが遺した物語。
	著者	那須 正幹／さく 武田 美穂／え			
	出版社	ポプラ社			
	分類	E03／ナ	出版年	2025年	
	所蔵館	中央・東・南・上河内・河内			

	タイトル	夜光貝のひかり			夢をあきらめ、落ち込む少年、彼方（かなた）は、奄美大島の親戚の家に滞在することに。そこで記憶をなくした幽霊の少女と出会う。彼方は、少女の記憶を取り戻すため、奄美の歴史を調べはじめ、この島で起こった”戦争”にたどり着く。
	著者	遠藤 由実子／作			
	出版社	文研出版			
	分類	913／エン	出版年	2023年	
	所蔵館	中央・東・南 ほか多数			

	タイトル	ぼくはうそをついた			リョウタの祖父とレイのひいおばあさんは、広島原爆によって大切な人が亡くなり、心の傷を抱えていた。リョウタとレイは、2人の過去をそれぞれたどっていくうちに、ある関わりがあることに気付く。それは一体…。 原爆投下後の悲惨な状況や残された人々の悲しみが心に響く。
	著者	西村 すぐり／作 中島 花野／絵			
	出版社	ポプラ社			
	分類	913／ニシ	出版年	2023年	
	所蔵館	中央・東・南・上河内・河内			

	タイトル	おとうとのねじまきパン ずっとむかし、満州という国であったこと			かつて日本が中国大陸につくった国・満州には多くの日本人が暮らしていた。戦時中の生活や、終戦後に日本になかなか帰ることができなかった背景など、当時13歳だった和子さんの体験を基に書かれた物語。
	著者	高橋 うらら／著			
	出版社	合同出版			
	分類	916/タ	出版年	2024年	
	所蔵館	中央・東・南・上河内・河内			

	タイトル	命をつないだ路面電車			ナチスがユダヤ人を次々に連行していく混乱の中、路面電車の車掌さんに助けを求めた少年エマヌエーレ。2日半もの間、路面電車の中に身をかくして逃げのびた。 現在91歳になる彼が経験した、実際の出来事を元にした物語。
	著者	テア・ランノ／著 関口 英子／訳 山下 愛純／訳			
	出版社	小学館			
	分類	933/ラン	出版年	2024年	
	所蔵館	中央・東・南			

	タイトル	レオがのこしたこと ヴェステルボルク収容所の子どもたち			ユダヤ人の少年レオは、ある朝、両親とともに家を連れ出される。行先はヴェステルボルクの収容所。ここは、この先の収容所に移送するための通過収容所だった。 7歳から9歳までこの収容所で過ごした少年レオの記録。
	著者	マルティネ・レテリー／作 野坂 悦子／訳			
	出版社	静山社			
	分類	936/レ	出版年	2024年	
	所蔵館	中央・東・南			

	タイトル	地球に暮らすぼくたちへ			この地球には様々な人が暮らしている。人は皆平等に、そして誰もが自由に生きるべき。 争いが起きないために、人はどう生きべきなのか。子どもたちに、平和についてわかりやすい言葉で語りかける。
	著者	中川 ひろたか／作 松田 奈那子／絵			
	出版社	アリス館			
	分類	E03/ナオ	出版年	2024年	
	所蔵館	中央・東・南			

	タイトル	ピースフル・プラネット なぜ戦争が起きるの？ 平和な世界を作るためにできること			今、地球上でおこっている戦争。誰も幸せになれないのになぜ戦争はおこるのか、その問題をさぐり、過去の戦争の事例から平和な世界を作るために私たちができることを考える。
	著者	アンナ・クレイボーン／作 大山 泉／訳			
	出版社	評論社			
	分類	310/ク	出版年	2023年	
	所蔵館	中央・東・南・河内			

発行 令和7年7月 編集・発行 宇都宮市立図書館

問合せ 宇都宮市立中央図書館 〒320-0845 宇都宮市明保野町7-57 電話 028-636-0231